

美しい山形・最上川フォーラム

第9回「もがみがわ水環境発表会」

～ 開催報告 ～

平成25年11月10日(日)に山形県生涯学習センター「遊学館」にて開催された「第9回もがみがわ水環境発表会」では、県内の小学校・中学校・高等学校・大学・大学院・一般の26団体の方々より、日ごろ行っている水環境向上への活動について、成果発表をしていただきました。約110名の皆様にご参加いただき、大盛会のうちに終了することができました。

参加された皆様にとって情報交換や交流の場となるとともに、最上川をはじめとする県内の河川や湖沼及び沿岸海域や県外などでの幅広い調査研究も含め、様々な分野から水環境に対する関心や認識を深めていただく絶好の機会となりました。発表をしていただいた中学生・高校生の皆様には、今後の活動や研究を発展していくためのヒントも提示され、さらなる研究・活動の継続が期待されました。

また、山形大学理学部 半澤直人教授より「最上川水系の魚類相－固有の絶滅危惧種をどのように後世に残していくか?」と題しご講演いただきました。古来から多種多様な生物が棲息し、豊かな生物相を育んでいる最上川水系も近年、大規模な環境の変動や人間の活動の影響により大きく変貌を遂げつつある現状を、魚類環境としての最上川水系の特徴、生息する魚類の種の多様化や進化的特異性等を、近年起こっている様々な問題を通して説明していただきました。そして魚類の保全対策について、人間活動との関わりから紹介していただき、最上川水系と貴重な水生生物をいかにして守り、残していくべきかを考える機会にもなりました。



口頭発表セッション会場の様子



口頭発表セッション質疑応答



ポスターセッション会場の様子



基調講演